



©2005 石塚真一/小学館

第 189 号(令和2年6月4日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

# 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

6月以降、これまでの登山シーズンとの大きな違い

- ①山岳における救助活動は、必要に応じて感染防止対策を講じた上で出動するため、通常より救助に向かう時間を要する。
- ②多くの山小屋が例年より営業開始時期を遅らせているため、相談・休憩・避難・環境維持としての機能が低下する。



長野県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「入山注意報」を発表しています。

長野県 山岳情報サイト <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/index.html>

## 長野県内入山注意報発表中

令和2年(2020年)6月1日現在 長野県観光部山岳高原観光課

登山者への5つのお願い ~必ず事前に登山計画書を届出しましょう~

- 1 体調に不安がある場合は絶対に入山しないこと
- 2 山小屋・テント場の営業確認、事前予約を徹底すること
- 3 十分に難易度を落とした山選びをすること
- 4 混雑を回避する登山計画により行動すること
- 5 感染予防グッズを携行し、ゴミは持ち帰ること

**入山自粛**  
入山はお控えください

**入山注意**  
5つのお願いを守ってください

### ◆北アルプス南部(槍穂高連峰、常念山脈 等)

- ・地震の頻発により、雪崩、落石、地割れ等が発生
- ・中房、一の沢、三股、冷沢の各登山口駐車場は閉鎖
- ・北アルプス山小屋友交会員の山小屋、テント場は7月中旬まで休業

### ◆南アルプス北部(甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳 等)

- ・北沢峠こもれび山荘、仙丈小屋、塩見小屋、馬の背ヒュッテ、長衛小屋、大平山荘は今年休業
- ・シーズンを通して南アルプス林道バス運休
- ・戸台登山口へ至る市道は通行止め

### ◆中央アルプス(千畳敷カール周辺散策路を除く)

- ・一部の山小屋は今年休業
- ・池山林道は当面閉鎖
- ・駒ヶ岳ロープウェイは6/6(土) 開通

### ◆北アルプス北部(後立山連峰 等)

### ◆南アルプス南部(赤石岳、聖岳 等)

### ◆八ヶ岳、戸隠連峰 等

※活火山(焼岳、乗鞍岳、浅間山、御嶽山等)については、火山活動の状況を必ず確認してください。



山小屋の営業状況はこちら <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/sotaijyo/yamagoya/yamagoya.html>



「入山自粛」山域への入山はお控えください。

「入山注意」山域へ入山する際は、「登山者への5つのお願い」(最終頁)を守ってください。

※山域の最新の自粛/注意状況は、最新の山岳情報サイトをご確認ください。

### 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

5月4週は、県内で1件の山岳遭難が発生しました。長野県では、できるだけ身近な地域にとどまる「STAY 信州」が呼び掛けられています。近隣の里山を調べてみると、あらためて地元の良さや、意外な一面に気がつくことがあると思いますが、入山者が少ないルートは道が荒れていたり、不明瞭であったりする場合がありますので、しっかりとした下調べが必要です。

また、外出自粛により、体を動かす機会が少なかったこともあり、体力や筋力が落ちていると思われるため、身近な里山登山を計画する場合でも、事前に無理のない範囲でトレーニングを行い、体力面や筋力面のほか、往復時間等を考慮し、最初は難易度の低い山を選ぶようにしましょう。更に、里山であってもしっかりと計画を立て、装備品や行動食の点検を行い、天候チェックも忘れずをお願いします。少しずつゆっくりと、無理のない計画と行動を心掛け「安全登山」の感覚を再確認していきましょう。

5月5週は、県内で山岳遭難の発生はありませんでした。長野県の多くの山小屋では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、営業予定や方法を変更しています。入山前には必ず最新の情報を確認するとともに、少しでも体調に不安がある場合には、登山を中止にしましょう。

さて今一度、登山の計画について考えてみましょう。まず長野県は、**登山者への五つの「お願い」**として、

- ①体調に不安がある場合は絶対に入山しない
  - ②山小屋・テント場の営業確認、事前予約の徹底
  - ③十分に難易度を落とした山選び
  - ④混雑を回避する登山計画による行動
  - ⑤感染予防グッズ(消毒液、体温計、マスクなど)を携行し、ごみは持ち帰る、
- ことを呼び掛けていますので、これに沿った計画をお願いします。

またこのほかにも「道路の交通規制情報や公共交通機関の運行状況の確認」「登山口の駐車場の有無」「天候と登山道状況のチェック」「装備品と行動食などの点検」「トラブル発生時における対応要領の確認」などがあげられ、作成した登山計画書は必ず提出するとともに、家族等にも渡しておきましょう。

登山中の新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、登山者の皆さんが入念な下調べによって計画を立てることは、必ず山岳遭難防止にもつながるはずですので、あらためて、登山計画の立て方を見直してみましょう。

### 発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
5月23日	高妻山	55	男	滑落	負傷	単独で高妻山から下山中、滑落、負傷

23日、戸隠連峰高妻山において、男性55歳が滑落し行動できなくなる山岳遭難が発生しました。24日、捜索中の県警ヘリが発見・救助しました。



令和2年中の山岳遭難発生状況(令和2年1月1日～5月31日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和2年	51	9		23	24	56	32
平成31(令和元)年	82	10		45	39	94	55
前年同期比	-31	-1	±0	-22	-15	-38	-23
内)BC	-1	±0	±0	-1	-3	-4	-1
内)山菜キノコ採り	+3	±0	±0	+2	+1	+3	+2

山域別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高		0.0%				0	
	後立山	15	29.4%	3		8	7	18
	その他	8	15.7%	2		2	4	8
	計	23	45.1%	5	0	10	11	26
中央アルプス	1	2.0%	1				1	
南アルプス		0.0%					0	
八ヶ岳連峰	13	25.5%	3		8	2	13	
その他の山岳	14	27.5%			5	11	16	
計	51		9	0	23	24	56	

態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	12	23.5%	1		11		12
転倒	7	13.7%			7		7
病気	2	3.9%				2	2
道迷い	13	25.5%				15	15
落石		0.0%					0
雪崩	4	7.8%	1		3		4
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	2	3.9%				2	2
不明・他	11	21.6%	7		2	5	14
計	51		9	0	23	24	56

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下					0	10 22.2%					0	5 45.5%	0	15人 26.8%	
20代			1	4	5					1	1				6
30代	1		3	1	5				2	2	4				9
40代	3		4	4	11	24 53.3%			1	1	2	3 27.3%	13	27人 48.2%	
50代	1		7	5	13		1				1				14
60代	3		1	3	7	11 24.4%			1		1	3 27.3%	8	14人 25.0%	
70以上			2	2	4				1	1	2				6
計	8	0	18	19	45		1	0	5	5	11		56		
比率	80.4%						19.6%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝

# 登山者への5つのお願い



©2005 石塚真一/小学館

必ず事前に登山計画書を届出しましょう

1

体調管理

体調に不安がある場合は、絶対に入山しないこと。

- 日ごろの体調管理に加え、当日の検温を。
- 少しでも風邪症状があったら入山を控えましょう。

2

情報収集

山小屋・テント場の営業確認、事前予約を徹底すること。

- 山小屋泊の場合は必ず事前予約しましょう。
- テント場利用の場合も事前に連絡を。

3

山選び

十分に難易度を落とした山選びをすること。

- 登山中に体調を崩すと、救助・医療体制に負担をかけ、山小屋の営業にも影響を与えます。

4

行動計画

混雑を回避する登山計画により行動すること。

- 混雑期を避け、少人数のパーティーで入山。
- 宿泊、休憩場所ではマスクを着用し、他の登山者と一定の距離をとりましょう。

5

装備

感染予防グッズを携行し、ゴミは持ち帰ること。

- 消毒液、体温計、マスク、シュラフ、使い捨て手袋、多めの水、密閉ゴミ袋等が必要です。
- 山小屋がルールを定めている場合は従いましょう。

